第２号様式

SDGs達成に向けたチェックシート

記入日	2025年1月10日	企業名	株式会社フジクラエナジーシステムズ

以下のチェック項目に対して、「現在実施している具体的な取組」「今後実施予定の取組（赤字）」を記載してください。なお、チェック項目に対応する主なSDGsの目標を右の欄に表示しておりますので、取組内容に応じて適宜ご修正ください。

No.	側面(分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	環境	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況や温室効果ガス排出量の把握、エネルギー使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	・電力等のエネルギー使用量や温室効果ガス排出量の把握 ・省エネや温室効果ガス削減の取組の実施 ・再生可能エネルギー、グリーン電力の導入	・社内における電力・ガス等各種エネルギー使用量および温室効果ガス排出量を月次で把握しており、年間計画で目標と施策を設定して活動している。 ・それら計画および実績は(親会社である)フジクラのグループ環境方針と管理下で推進している。（参考；フジクラ環境長期ビジョン2050；https://www.fujikura.co.jp/esg/environmental/index.html）							●					●	●				
2	環境	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R（リユース、リデュース、リサイクル）を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	・廃棄物の削減計画の推進 ・使い捨てプラスチックの使用や廃棄の削減に対する取組の実施 ・自社製品の耐久性向上による長期利用の促進 ・使用済み自社製品の回収・リサイクルの実施	・製品にするために発生する屑削減の取り組み ・使用済み木製ドラムの再利用による廃棄物の削減(梱包材、ウッドチップ等) ・社内規程に準じてマニュフェスト管理・保管を実施 ・廃棄物委託業者への定期的な現地視察（適正な処理、再利用等）									●			●	●	●	●		
3	環境	健全な森林環境や河川環境を維持するための活動など、生態系の保全に努め、地域や他団体が実施する環境保全活動に協力・支援している。	・海や山などにおけるゴミ拾い活動 ・生物多様性に配慮した持続可能な資源利用 ・市の自然環境保全活動への協力・賛同	・三社会（フジクラ、明電舎、リコー）による千本浜清掃活動（1回/年） ・市内一斉クリーン週間に参加しての歩道ゴミ拾い（1回/年） ・毎朝の事業所沿い歩道清掃												●	●	●	●		
4	社会 環境	事業に伴う調達について、環境負荷や人権などに配慮している。	・認証製品など非合法材でない原材料の調達 ・サプライヤーやパートナー企業に対して、人権尊重や生物多様性の重要性、ハラスメント防止等の重要性を説明し、その遵守を要請	・「フジクラグループ責任ある鉱物調達方針(2019年5月策定)」に従って、グループ経営理念MVCVに基づき、責任あるサプライチェーンを確立するため、紛争地域諸国および高リスク国での鉱物調達に関して、人権侵害や労働問題等の非人道的行為に関与していない鉱物の調達に取り組んでいる。 ・「フジクラグループCSR調達ガイドライン」(2016年9月策定)に従ってサプライヤーやパートナーに遵守を要請している。 ・「パートナーシップ構築宣言」を公表し協力会社との相互協力体制を構築している。										●		●	●	●	●		
5	経済 社会	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に積極的に取り組んでいる。	・製品安全に関する方針、目標、組織体制、基準等の整備 ・不具合発生時の対応手順の整備 ・ISO9001の取得	・フジクラグループの「製品安全に関する基本方針」に従って、製造物責任法（PL法）を始め製品安全に関する関連法の基礎教育、信頼性工学に基づくシステム設計を実施している。 ・不具合発生時の対応手順については社内規程を定めて運用している。 ・ISO9001認証取得済み。（2022年12月）								●	●			●					
6	経済 社会 環境	環境に配慮した製品の開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	・環境に配慮した材料、製品、サービスを提供 ・製造過程におけるCO2排出量やプラスチック使用量の削減を設計時に考慮 ・医療、教育、地方創生、人手不足等の社会課題の解決を目的とした製品・サービスの開発	・フジクラグループは、製品の企画・開発・設計の段階で、環境配慮性を製品のライフサイクル全般において評価する製品環境アセスメントを実施し、環境性能の向上に取り組んでいる。 ・フジクラエナジーシステムズでは上記指針に従って取り組んでいる。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7	経済 社会	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、ワークライフバランスの推進や良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	・年次有給休暇の取得や長時間労働の抑制に関する方針、ルールが社内規程で定められている ・テレワークの導入 ・早帰り、ノー残業デーの推進	・「フジクラグループCSR活動指針」では、「グループの企業活動にかかわるすべての人の安全を確保し、働きやすい職場環境の維持・向上に努めます」と謳っており、年次有給休暇の取得や長時間労働の抑制に関する方針、ルールは社内規程で定めて運用している。 ・テレワークも導入中。			●		●			●		●							
8	社会	年齢、性別、国籍、障がいの有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	・男女共同参画推進事業所認定制度の認定を受けている ・職場のバリアフリー化等、誰もが使いやすい職場環境の整備 ・短縮勤務、在宅勤務等の制度整備、利用促進	・「フジクラグループ ダイバーシティ推進宣言」（2016年12月制定）に従って、各種活動を実施している。 ・フレックスタイム勤務および在宅勤務などを就労規程で制定して運用している。 ・女性活躍推進法に基づく行動計画、および次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画を策定して運用している。					●			●		●							

No.	側面 (分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
9	社会	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメント等、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	・ハラスメントの禁止についての社内規程の策定 ・ハラスメント研修の実施 ・ハラスメント相談窓口の設置	・ハラスメントの禁止について社内規程を定めて運用している。 ・ハラスメント研修（eラーニング）を実施している。 ・ハラスメント相談窓口を設置している。					●			●									
10	経済 社会	ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化など、業務の効率化やビジネスモデルの変革などに取り組んでる。	・顧客の情報をデータ化することによるテレワークやフリーオフィス化の推進 ・ICT機器の導入による従業員の作業時間の短縮	・従業員の作業効率改善の為、作業工程の動画マニュアルや現場作業記録システムの導入を検討・計画している。								●	●		●	●					
11	社会	若者の就業や移住を促進するため、UIJターンの推進など、若者の定着に向けた取組を行っている。	・インターンシップの受入 ・市外在住の求職者への説明会の実施 ・WEBなどを活用した若者向けの情報発信	・インターンシップを受入れるべく各種学校法人にコンタクトしている。 ・就職ナビゲーションに登録して市内の転職フェアなど企業説明会に参加している。 ・会社webサイトで「採用情報」を発信している。				●				●		●							
12	社会	疫病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	・ストレスチェックの実施 ・メンタルヘルス研修の実施 ・メンタルヘルス疾患に対応した休職規程の整備	・ピンクリボン運動に賛同し社内で乳がんに関する啓蒙活動を実施している。 ・ストレスチェックは年1回ペースで実施している。 ・メンタルヘルス研修を実施している。 ・メンタルヘルス疾患に対応した休職規程を定めて運用している。			●					●									
13	経済 社会	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に努めている。	・職務、役割等に応じた研修の整備 ・通信講座や社外セミナーへの費用補助等、従業員が学習する仕組み、学習を支援する仕組みを構築する	・職種、役割に応じた各種研修を計画し実施している。 ・通信講座や社外セミナーへの費用補助等、従業員が学習する仕組み、学習を支援する制度があり実施している。				●				●									●
14	社会	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	・コンプライアンスについて社内規程の策定 ・コンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンス違反通報窓口の設置	・コンプライアンスについては社内規程を定めて運用している。 ・コンプライアンス研修（eラーニング）を年１回ペースで実施している。 ・コンプライアンス違反通報窓口を設置している。								●		●						●	
15	経済 社会	自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、取組計画の策定、運用を行っている。	・サスティナビリティ推進委員会等の推進組織、担当部署、担当者の設置 ・推進計画に基づく取組の運用	・フジクラグループでは「サステナビリティ目標2025」と題してESGの観点にF（財務・将来）を加え、環境・社会が企業業績に与える影響を新たに盛り込み、2030年ビジョンなどの長期ビジョン達成を考慮して各種課題に取り組んでいる。 ・フジクラエナジーシステムズでは上記指針に従って取り組んでいる。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16	経済 社会 環境	自社の環境、社会、ガバナンスに関する取組を社外に公開している。	・自社の環境情報の公開、人権、労働に関する取組、リスクマネジメント体制のガバナンス情報等をHPで公開している	・フジクラグループとしてECGに関する情報をフジクラHPで公開している。 https://www.fujikura.co.jp/esg/index.html ・フジクラエナジーシステムズの活動実績はグループ内活動に包含されている。												●					
17	自由 記述	環境 ・ 経済 ・ 社会																			

※現在実施している具体的な取組又は今後実施予定の取組について、以下の２点を満たしたうえで提出してください。
①経済・社会・環境の３つの側面それぞれについて、取組を設定していること
②10項目以上記載すること